

平成 29 年 10 月 20 日

平成 28 年度 がん検診再受診勧奨事業の結果について

1 平成 28 年度がん検診再受診勧奨事業について

(1) 実施方法

対象区民へ子宮がん・乳がん検診の受診勧奨リーフレットを送付。
なお、リーフレットは受診歴に応じて異なる内容としている。

(2) 対象者

平成 29 年 3 月 31 日現在、以下の年齢に該当する女性区民。

- ・子宮がん：29、34、39 歳
- ・乳がん：44、49 歳

それぞれについて、過去 3 年間の受診歴に応じ下記のとおり区分する。

- ・2・3 年前に受診している者：受診者
- ・3 年間受診していない者：未受診者

なお、平成 28 年 9 月 9 日時点で、平成 28 年度に対象のがん検診の受診を確認できた者（平成 28 年 4 月～8 月受診者）は、発送対象者から除外した。

(3) 発送日

平成 28 年 10 月 17 日（月）

（個別勧奨通知は、4 月～6 月に送付）

(4) 発送件数

- ・子宮がん検診【受診者用】 …… 1,734 件
- ・子宮がん検診【未受診者用】 …… 7,235 件
- ・乳がん検診【受診者用】 …… 1,578 件
- ・乳がん検診【未受診者用】 …… 8,057 件
- 合計 …… 18,604 件

2 受診状況について

	対象者数	受診者数	受診率
子宮がん検診【受診者】	1,734	253	14.6%
子宮がん検診【未受診者】	7,235	281	3.9 %
乳がん検診【受診者】	1,578	650	41.2%
乳がん検診【未受診者】	8,057	588	7.3 %

3 受診率向上効果について

受診率向上効果を検証するための比較データは、下記の年齢に該当する女性区民（再勧奨対象者と1歳違い）のうち、対象者と同条件の者とした。

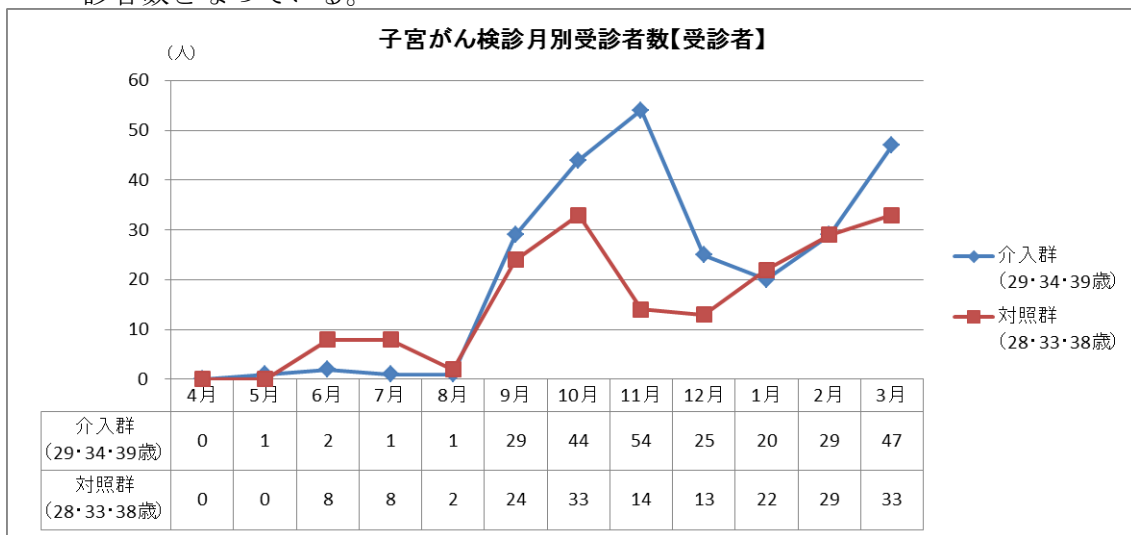
- ・子宮がん：28、33、38歳
- ・乳がん：43、48歳

なお、平成28年9月9日時点で、平成28年度に対象のがん検診の受診を確認できた者（平成28年4月～8月受診者）を「(1)発送後の受診者数」は除外して集計、「(2)受診率の比較」は含んで集計を行っている。

(1) 発送後の受診者数

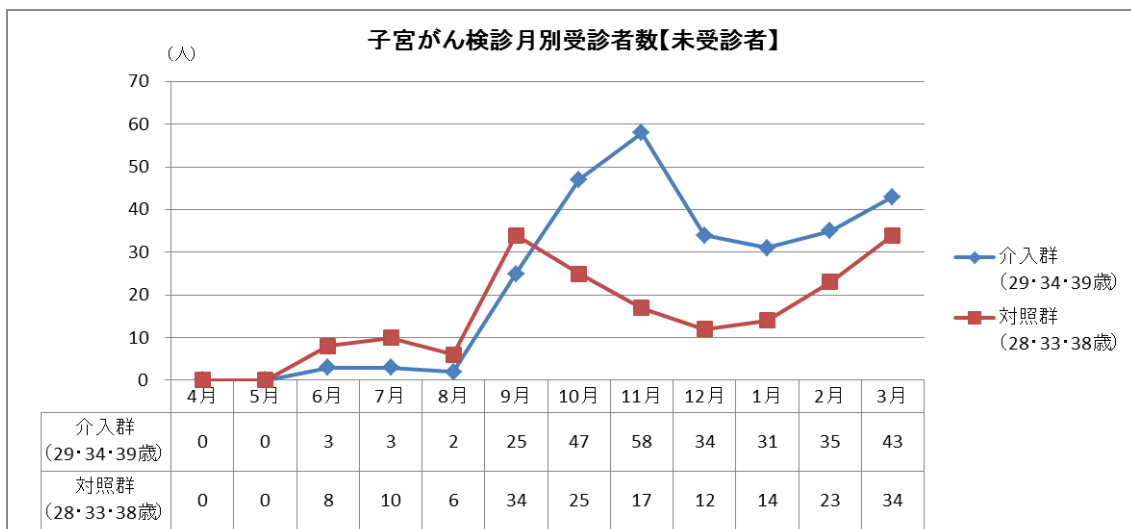
子宮がん【受診者】：29、34、39歳

受診勧奨を行った「介入群（29、34、39歳）」の10月と翌月11月の受診者数は増加するものの、12月以降は「対照群（28、33、38歳）」と、ほぼ同様の受診者数となっている。



子宮がん【未受診者】：29、34、39歳

受診勧奨を行った「介入群（29、34、39歳）」の10月の受診者数は、9月に比べて約1.9倍増加し、10月以降全ての月で「対照群（28、33、38歳）」よりも多くなっている。

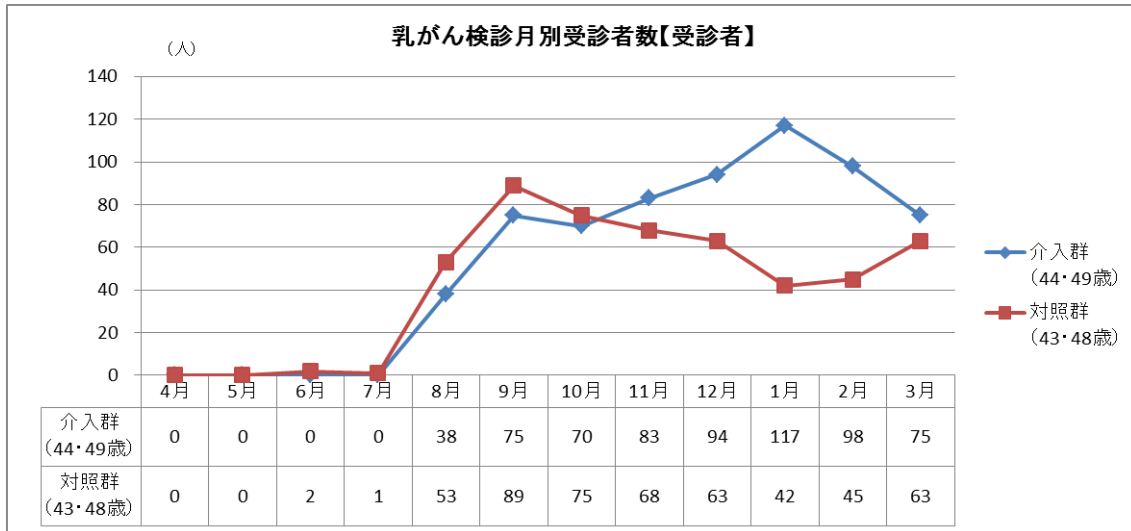


乳がん【受診者】：44、49歳

乳がん検診の受診月は、申し込み月の2か月後となるため、12月以降の受診状況を比較する。

受診勧奨を行った「介入群（44、49歳）」の12月の受診者数は、11月に比べ増加し、特に翌月1月の受診者数は同月「対照群（43、48歳）」比で約2.8倍の受診者数となった。

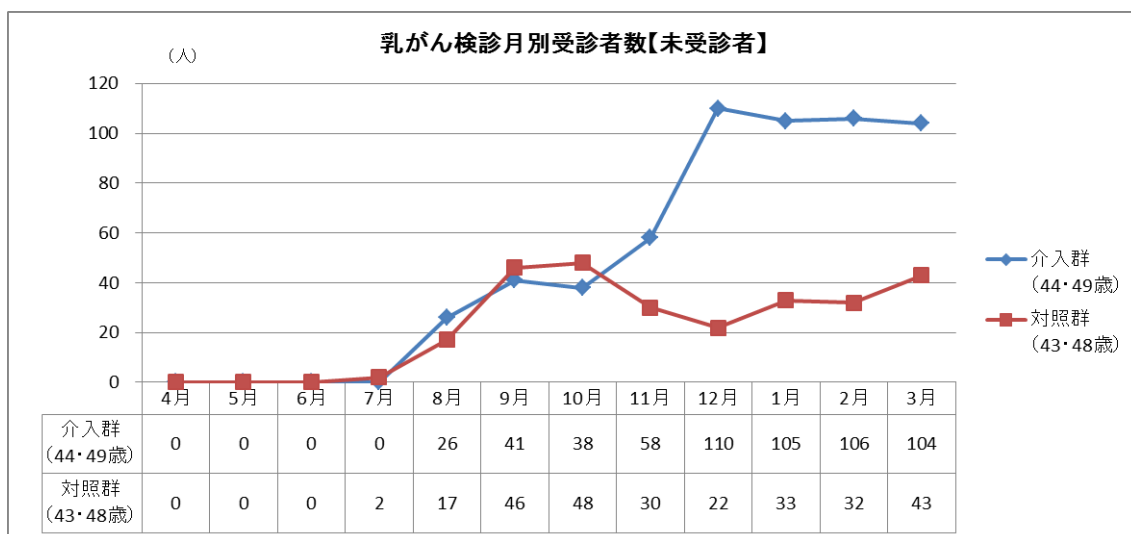
12月以降全ての月で「対照群（43、48歳）」よりも多くなっている。



乳がん【未受診者】：44、49歳

乳がん検診の受診月は、申し込み月の2か月後となるため、12月以降の受診状況を比較する。

受診勧奨を行った「介入群（44、49歳）」の12月の受診者数は、11月に比べて約1.9倍増加し、12月以降全ての月で「対照群（43、48歳）」よりも多くなっている。



(2) 受診率の比較

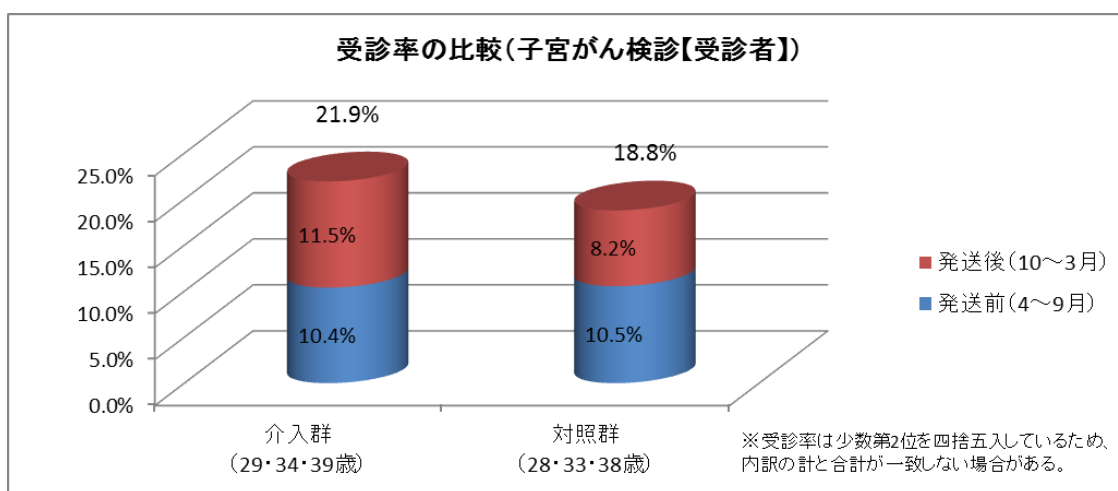
子宮がん【受診者】：29、34、39歳

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ 3.1 ポイント高かった。

(※1)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前（4月～9月）は、「介入群」が 10.4%（197人）、「対照群」が 10.5%（184人）で 0.1 ポイント低いのに対し、発送後（10月～3月）は、「介入群」が 11.5%（219人）、「対照群」が 8.2%（144人）で 3.3 ポイント高かった。

※1 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。（ $0.01 < p < 0.05$ ）



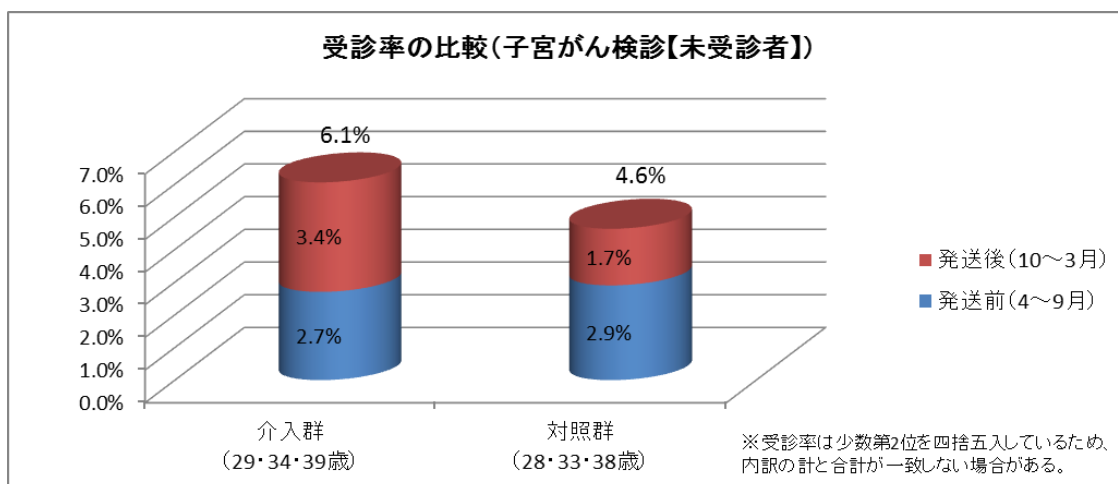
子宮がん【未受診者】：29、34、39歳

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ 1.5 ポイント高かった。

(※2)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前（4月～9月）は、「介入群」が 2.7%（200人）、「対照群」が 2.9%（209人）と 0.2 ポイント低いのに対し、発送後（10月～3月）は、「介入群」が 3.4%（248人）、「対照群」が 1.7%（125人）で 1.7 ポイント高かった。

※2 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。（ $p < 0.001$ ）



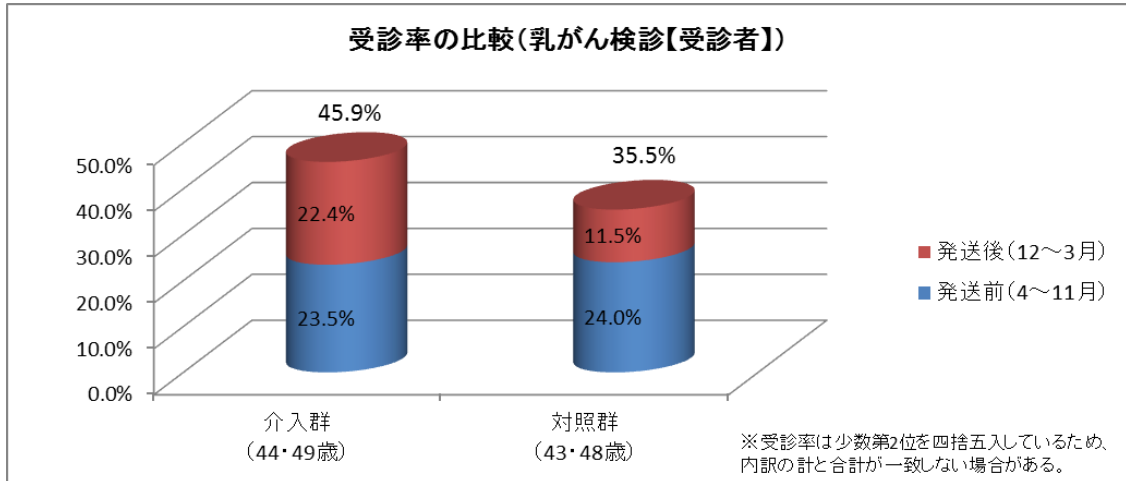
乳がん【受診者】：44、49歳

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ10.4ポイント高かった。

(※3)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～11月)は、「介入群」が23.5%(402人)、「対照群」が24.0%(446人)と0.5ポイント低いのに対し、発送後(12月～3月)は、「介入群」が22.4%(384人)、「対照群」が11.5%(213人)で10.9ポイント高かった。

※3 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(p<0.001)



乳がん【未受診者】：44、49歳

受診勧奨を行った「介入群」の受診率は、対照群と比べ3.7ポイント高かった。

(※4)

また、発送前後の受診率を比較すると、発送前(4月～11月)は、「介入群」が2.7%(216人)、「対照群」が2.6%(210人)とほぼ同数であるのに対し、発送後(12月～3月)は、「介入群」が5.2%(425人)、「対照群」が1.6%(130人)で3.6ポイント高かった。

※4 カイ二乗検定を行ったところ有意差があった。(p<0.001)

